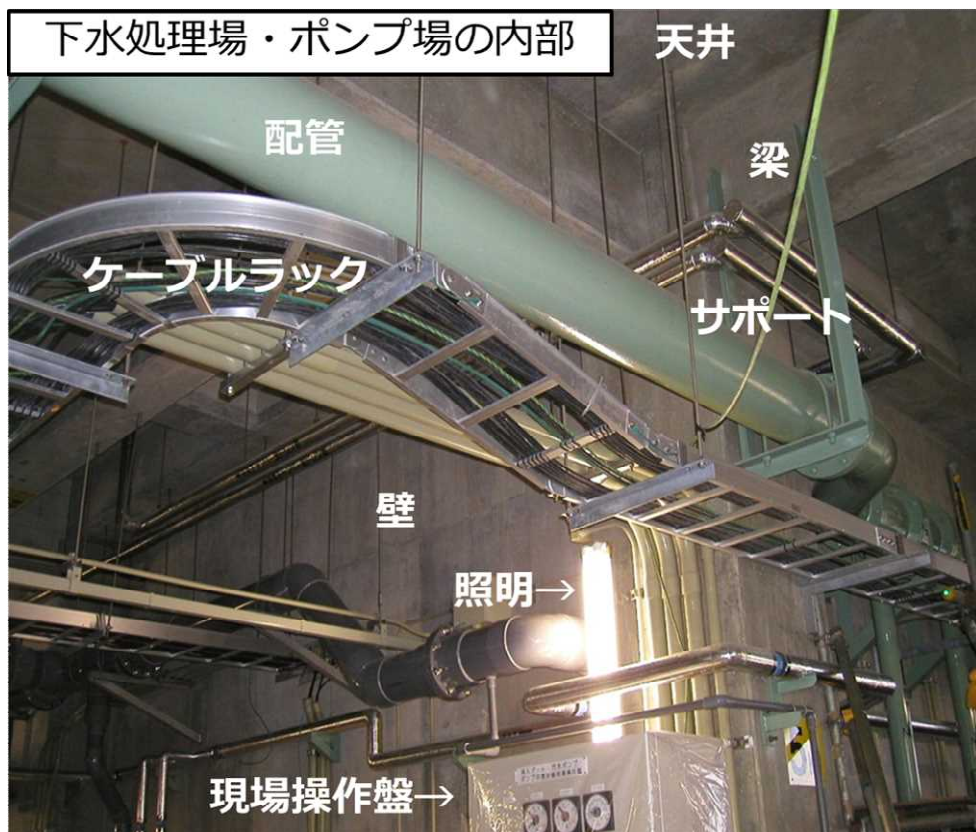


下水道事業へのBIM/CIM導入

下水道施設の特徴

- 下水道施設は、土木・建築・機械・電気設備が複合して関与し、細やかな設計・施工・維持管理が必要
 - 管渠、機械設備に付随する配管、配線等が輻輳した現場環境
- ⇒ **BIM/CIM導入による下水道事業の効率性向上に期待**



下水道BIM/CIMに期待される主な効果

設計

合意形成・意思決定の迅速化
住民説明、工事説明、関係者協議の効率化



設計ミス・手戻りの減少
設計の可視化、図面の整合性確保



施工

現場の安全性向上
作業現場内の危険箇所を事前チェックにより、事故を未然に防止



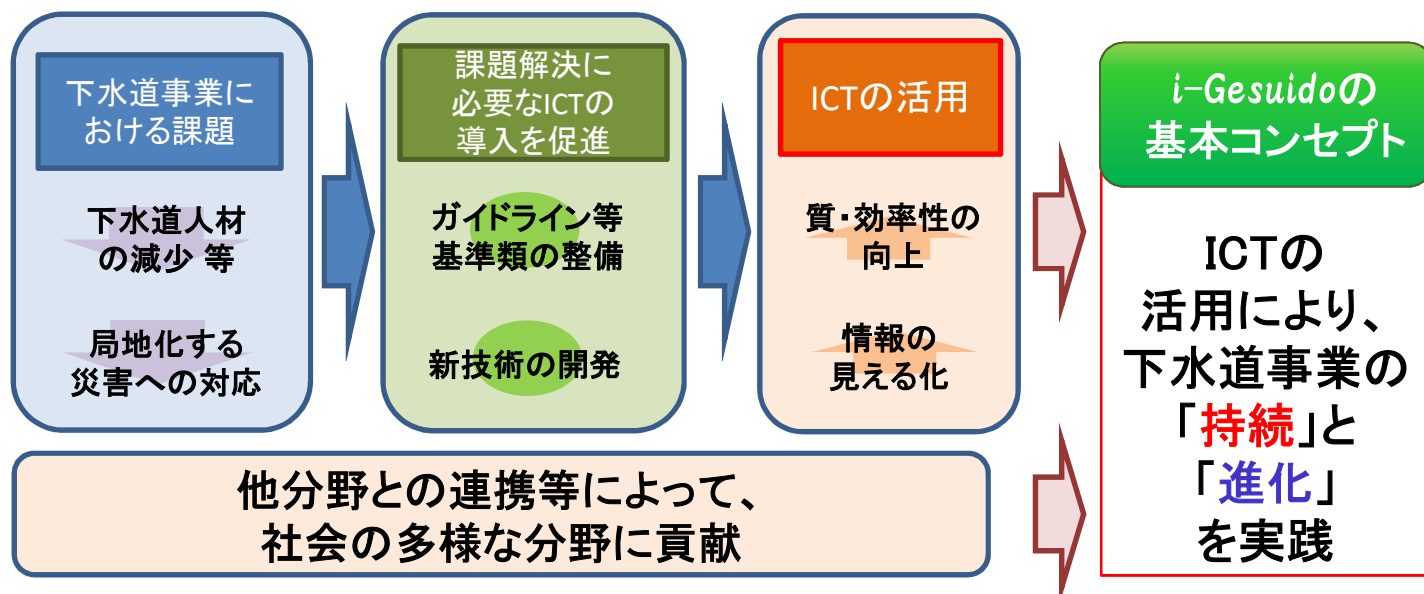
施工性が向上し、工事日数短縮
施工計画書への反映により、施工順序の最適化、現場内情報の円滑な共有

維持管理

的確な維持管理
施工時の品質情報や仕様等、維持管理に必要な情報をモデルに追加し維持管理を効率化

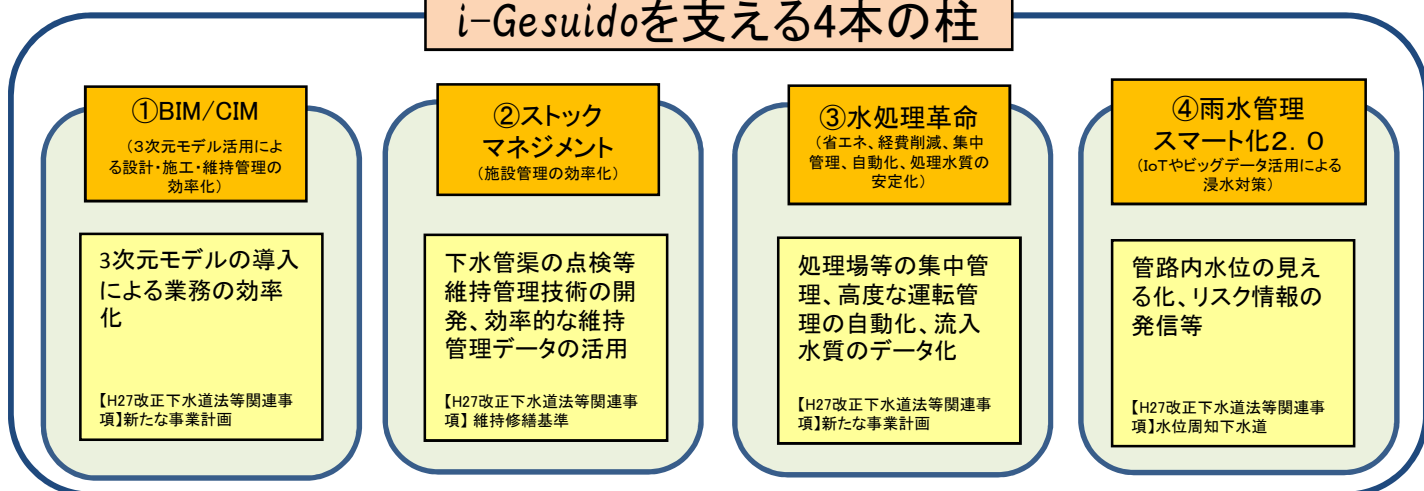
i-Gesuidoの概要

- 国土交通省では、下水道事業の抱える様々な課題に対して、ICTの活用による下水道事業の質・効率性の向上や情報の見える化を行い、下水道事業の「持続」と「進化」を実践。その取組を「i-Gesuido」として推進。
- i-Gesuidoでは、既存のICTを各地方公共団体において積極的に導入できるよう、ガイドライン等基準類の整備を行うとともに、関係する技術の開発を推進するなど、下水道事業におけるICTの導入を促進。



- i-Gesuidoの推進に当たっては、ICTを活用して効率的な事業実施が可能な4本の柱を中心に施策を展開し、より効率的な下水道事業とすることを旨とする。
- また、ICTを活用して他分野と連携する取組等についても今後検討し、社会の多様な分野に貢献。

i-Gesuidoを支える4本の柱



他分野との連携

排水水質監視による感染症の予兆把握や高齢者世帯の見守りなど他分野との連携、取組について今後検討